

今年の後半、特に目立ったのは「子どもたちと委員が直接対話する姿」です。大人が子どもを支えるだけでなく、共に学校や地域の未来を語り合う場が増えてきました。



③環境整備と安全：除草作業の効率化や、通学路の安全、さらには学校再編に伴う閉校準備など、地域の力が必要な具体案が話し合われました。



③地域側の本音：「自治会に具体的にお願いしてくれば、主体的に協力できる」「行事の担い手の高齢化は課題。もっと若い世代や多くの人にこの活動を知ってほしい」



④熟議の質向上：専門職員によるファシリテーションの導入、次回議題の事前提示による議論の深化

「子どものために、地域で何ができるか」。この問いを、これからも皆様と共に深めていきたいと思ひます。

地域学校協働活動

(地域と学校が連携・協働して行う様々な活動のことで「地域連携」ともいう)

鹿沼市では地域と学校が連携・協働して様々な活動が行われています。今回はその一部をご紹介します！
いずれも地域が主体的に企画・運営した事例で、子どもたちもボランティアとして関わっています。

あわの盆踊り

8月14日に栗野地区コミュニティ推進協議会主催の「第14回あわの盆踊り」が開催されました。合併から20年を迎える本年度は花火が20年ぶりに復活し、会場を彩りました。



津田フェスティバル

9月27日に「第3回津田ふるさとフェスティバル」が開催されました。今年のテーマは「つながよう！津田の輪 笑顔の和」地域の人と子どもが一緒になって、大いに盛り上がりました。



◆◆◆地域学校協働活動&コミュニティ・スクール研修会について◆◆◆

地域と学校の再生に向けて～それぞれの役割を考える～

一般社団法人 とちぎ市民協働研究会 代表理事 廣瀬 隆人 先生を講師に迎え、今年度3回目の研修会が開催されました。

前半は再編に伴う(統廃合のあとの)学校を核とした地域づくりや地域学校協働活動の在り方について、ご講話をいただきました。



☞ 既に再編を経験した学校の事例紹介は、非常にタイムリーな内容で熱心に聞き入る様子が見られました。

☞ また後半は、講話を受けてのグループ協議を行いました。様々な立場の方同士、地域ごとの課題を共有したり、今後の活動について情報交換を行いました。

～参加者のみなさんの声～

子どもを通じて大人が成長する、地域の財を活かす、仲間がいるということを再認識しました。

子どもと一緒に、大人も楽しむ！

学校はなくなってもそこに子どもたちは残るという言葉が心に残った。

本校も統廃合の学校。不安もあるが「地域の統合は子どもたちにとって資源が増えること」だとプラスのイメージをもつことができた。

まさに目からウロコ、今後の活動に明るい展望のもてる内容で参加してよかった。

ポジティブに話し合えるように「同じ」「共通点」を見つけていくことが必要と発見できた。

今、学校運営協議会で熟議すべき内容で考えさせられた。他の委員へも共有したい。